

Langara College

ランガラ・カレッジ

所在地

100 West 49th Avenue, Vancouver, British Columbia, CANADA V5Y 2Z6

ホームページ: <http://www.langara.bc.ca/>経済学部: 語学留学(英)
外国語学部: 語学留学(英)

沿革

ランガラ・カレッジは、1965年に創立された公立校で、フルタイムの学生約12,000名、世界80ヶ国余からの留学生約3,600名を含む21,000名以上の学生が4年間の学士課程、専門課程、生涯教育で学んでいる。留学生専用デスク、カフェテリア、図書館、ジム、コンピュータラボ、ドクターオフィスなど設備が整っている。

特色

4年制大学への編入コースはカナダ最大である。特に名門ブリティッシュコロンビア大学に多くの学生が編入している。ランガラ進学英語学習(LEAP)プログラムでは宿題や課題が多く、短期集中で英語力を高め、その後の大学やビジネス、日常的に英語が必要となる場面で即戦力となる知識と語学力を身につけることができる。

LEAPプログラム: 1セッション7週間。週20時間。毎週10~20時間分の宿題有。

- 基礎レベル(LEAP BASICS~LEAP2): 初級レベル
カナダの文化や社会に重点を置き上級コースへ進むために必要なアカデミック英語基礎力を身につける。
- 進学準備レベル(LEAP3~LEAP8): 中級レベル以上
大学の本課程コースを受講するのに必要なアカデミック英語力に重点を置き、論文用のライティングやプレゼン方法、クリティカルシンキングなど北米の大学で重要視される教養と思考力を同時に習得。

宿泊

ホームステイ

生活

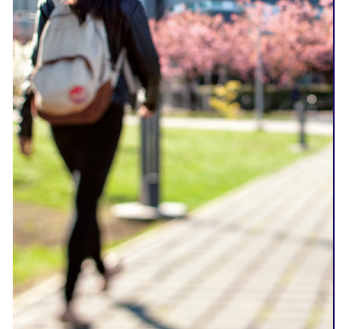
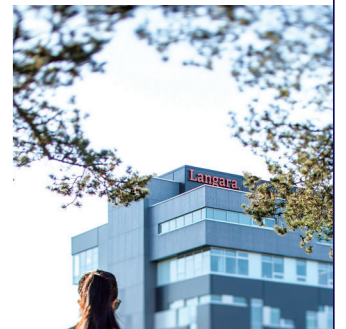
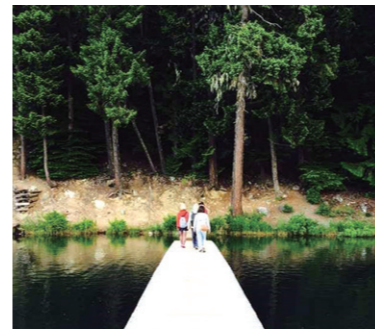
ブリティッシュコロンビア州に位置するバンクーバーは治安の良い街として有名で、世界で最も住みやすい都市ランキングの上位に選ばれる。また、訛りのない標準英語が話されるため世界に通用する英語を習得するのに最適な環境。キャンパスはダウンタウンにもほど近い住宅街に位置し、緑あふれる美しい公園のよう。地下鉄で通えるので、交通の便もよく、理想的な環境である。

条件

- 基礎レベルLEAP BASICS~LEAP2: TOEIC400点が望ましい。
- 進学準備レベルLEAP3~LEAP8: 目安はTOEFL (ITP) 480点。
- 本課程コース進学: LEAPのレベル6を修了(レベル7よりLEAPと並行して本課程コースを受講)、もしくは、ランガラ・カレッジ独自の英語テストでレベル2に合格すること。

留学時期

- 経済学部: 2年次第1学期から3年次第2学期までの4ヶ月、6ヶ月、1年。
- 外国語学部: 2、3年次第2学期、もしくは3年次第1学期から4ヶ月、6ヶ月、1年。
(本学学生に最適な2017年のLEAP開講日: 3月1日、8月30日)



バンクーバー留学で学び、経験したこと

経済学部経営学科 2016年留学 狩谷 玲奈

私は、二月の後半から八月の後半にかけて、カナダのバンクーバーにあるランガラ・カレッジに留学していました。私のホストはフィリピン人で、初めは英語を聞き取ることで精いっぱいでした。それでもなかなか聞き取れず、うまく返すことも出来なかったのが先が思いやられたのを覚えています。しかし、ホストファミリーもマザーもとても親切で、バンクーバーにあるエイジェントまでの道案内や、市内観光をしてくれました。おかげで、電車やバスの乗り方に困ることなくスムーズになじむことが出来たのでとても感謝しています。休日には、ホストの子供が通う近くの小学校に連れて行ってくれ、パーティーに参加させてもらいました。夕食はフィリピン料理が多かったのですが、どれもとても美味しかったです。

私が通ったランガラ・カレッジにはLEAPプログラムというものがあ、basicクラス、LEAP1からLEAP8まで9つのコースに分かれています。私はLEAP1から始めました。1コース7週間あり、その間にライティング、リーディング、リスニング、スピーキング、プレゼン力を学んでいきます。コースを上げていくには、毎週何回か授業中に行われる小テストの平均全て70%を超えている必要があります。また、最後の週に行われるファイナルテストはとても重要で、全体の評価で半分以上が割り当てられるためプレゼンや発言、出席率などの評価を含め7割以上とらなければいけません。私は、無事全てのコースに順調に進むことが出来たので最終的にLEAP3を合格することが出来ました。最初は宿題の量がとても多く、嫌になってしまう時がありました。しかし、それも毎日の日常に変わるとなるとはなく、先生から返されるプレゼンや小テストのフィードバックにたくさんコメントが書いてあるので、すごく励まされました。また、日々の成長

を小テストで感じることができたので自信につながり、続ける事が出来ました。私のクラスは、中国人5人、日本人4人の他、韓国、ブラジル、チリ、サウジアラビア、一人ずつという割合でした。

また、カナダ人で日本が大好きな人たちと交流を深めるパーティーに参加した時は、自分の国をあまり知らなかった自分に恥ずかしくなりましたが、カナダ人の人たちが日本のいいところをたくさん知っていたり、日本にすごい興味を抱いてくれたり、感激しました。そこで仲良くなったカナダ人とはその後もカナダの色々なところへ遊びに行きました。例えば休日には、スノーボードやハイキング、カヌー、ビリヤードやダーツを教えてもらいながら楽しみました。バンクーバーの中心から雪山まであまり距離がなく、すぐに行けることも魅力的でした。また、ウィスラーという山ではジップラインという木から木へと張られたワイヤーロープを、滑車で滑り駆けめぐるアドベンチャーを体験しました。

この半年間で多くの事を経験し、学びました。英語を勉強すればするほど言葉の難しさや意思を明確に伝えることの難しさ、言語の奥深さを知りました。また、それぞれの国にはやはり文化があり、性格や行動は国によって全く違いました。日本を含め、それぞれの国には良いところも悪いところもあり、グループプレゼンなどで、話し合いをしていてぶつかることがしばしばありましたが、お互いに国の文化を理解したうえで対応し、互いの文化を尊重することが大事だと思いました。しかしこれが意外と難しいということも痛感しました。また、休暇中にいろいろな所へ出掛けその土地を知ることでその国の文化や人、経済状況を知ることが出来たことは良い経験となりました。この留学ではリスニングなどの英語力だけでなく、多くの経験を通して行動力や観察力、様々な文化の人たちとの関わり方を学ぶことが出来たと思います。何もかもが新鮮で多くを学んだ、価値のある半年間でした。